

アジア大会パラグライディング金メダリスト

ひろかわ よしあき
廣川 靖晃 さん



PROFILE

ひろかわ よしあき(大山区・44)
第18回アジア競技大会でパラグライ
ディング競技に出場。クロスカントリー
男子団体で金メダルを獲得した。ネット
フラワーズ所属。

アジア大会優勝の快挙

8月18日から9月2日にか
けてインドネシアで開催され
たアジア大会。今大会から空
を舞台に、パラグライディン
グ競技が初めて採用された。

市内在住の廣川靖晃さんは
同競技に出場。長距離飛行で
ゴールに到達するタイムを競
う、クロスカントリー男子団
体を制し、見事、初代金メダ
リストに輝いた。

接戦で緊張したという廣川
さん。この快挙に「初めから
アジア最強を目指していたの
でほっとした。君が代を歌う
ことができた」と声を弾ませ
る。共に金メダルを手にした
のは4人の仲間。普段は手ご
わいライバルだが、仲間とな
ると心強い。妻のバックアッ
プと2人の小さな子どもの存
在も大きな支えだった。

空を飛びたいという夢

もともとウィンドサーフィ
ンをしていた廣川さん。「いつ
か空を飛んでみたい」という
夢をかなえるべく、12年前に
パラグライディング教室に所
属した。安定した強風と海が
見える場所を求めて、ここ御

前崎市へ移り住む。天気の良い日には自宅の庭を拠点に海へと向かって飛び立ち、練習を重ねる。時折、2歳の長女と2人乗りで飛ぶこともあるという。

パラグライディングの魅力は「空に行けること。普段は見られない景色を見るのほども新鮮」と語った。飛んでいる間は風の向き、雲、地形を見て、上昇気流がどのあたりで発生するか予測する。「いくら練習しても空気はやはり目に見えない。風を読むことは難しいが奥が深く、それがまたおもしろい」と続けた。

次なる目標は世界一

競技に参加し始めたのは10年前。クロスカントリー団体でアジアを制すまでに上り詰めた。首に提げた金メダルは「ずっしりと重い」。

「パラグライディングを始めたときから目標は世界チャンピオン。次はワールドカップか、世界選手権で優勝したい」と、今後もさらなる高みを目指して意欲を燃やす廣川さん。近く世界一の称号を手にし、再び御前崎市民に希望を届けてくれるだろう。